

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	図学・基礎デザイン	
科目基礎情報					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	堀岡勝、櫻井良明、小池和仁、小田島佑、小谷研一		実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的					
建築を学ぶ上で、正確な作図方法や感覚的な表現手法について理解を深めることは大変重要である。図学・基礎デザインでは、建築を空間的・構造的に成り立たせるために必要な製図の基礎知識や造形の表現力を身に付け、幾何学的な操作等を通して空間的な思考力を深めること、及び、デジタルな表現が主流となる中、アナログ的な表現手法の訓練や習得も学習目的とする。					
到達目標					
正確な平面や立体の図形認識力を養い、具象的な表現を行う能力を身に着けることために、次の3点を到達目標とする。 ①デッサン、図法、平面構成、デザインスケッチ、建築パース等の二次元的表現の基礎を習得し描画できる。 ②立体構成、模型製作等の課題を通して、空間を構成および表現できる。 ③平面構成や立体構成の応用、芸術科学の知識および各種表現事例の学習を通して自由な発想力が表現できる。					
教育方法等					
授業概要	毎回、作図や立体構成等の即日課題を行う。単純な平面操作・立体操作から始まり、最終的には空間パースおよび建築的な立体構成作品を完成させる。各課題に必要なデザイン講義は適宜行いながら作業を進める。				
注意点	プリントを多数使うので、毎回製本作業を行い資料を1冊にまとめること。授業時間中の指導・講義・作業に加えて、それ以外の時間での思考・検討・作業など、個々の目的に合わせて効果的に配分し取り組むこと。各回、必要な製図道具等が異なるので、忘れ物のないように事前に確認すること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	提出課題を総合的に評価する		
	成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		紙を使った表現を通して、モノの構造や形態の可能性について理解する。		
2回	基礎図法、立体模型-1		基礎的な図法について理解する。立体模型の製作方法を理解する。		
3回	スケッチの練習、立体模型-2		平面図を正確にトレースすることができる。単純な立体模型を製作できる。		
4回	スケッチの練習、立体模型-2		立面パースを正確にトレースすることができる。複雑な立体模型を製作できる。		
5回	スケッチの練習、多面体模型		建築物のイメージパースを描くことができる。複雑な多面体の構造を理解し製作することができる。		
6回	三面体模型		立方体を切断してできる多面体の断面構造を理解し模型を製作することができる。		
7回	立体構成-1		紙を使った表現を通して、モノの構造や形態の可能性について理解する。		
8回	透視図法（アイソメ）		様々な透視図法について理解する。アイソメ図を描くことができる。		
9回	立体構成-2		立体構成を通して3次元的な表現について理解する。		
10回	透視図法（一点透視）		一点透視図法の基本を理解する。一点透視図法で単純な立体を描くことができる。		
11回	透視図法（一点透視）		一点透視図法で複雑な立体を描くことができる。		
12回	透視図法（一点透視）		一点透視図法でパース（線画）を描くことができる。		
13回	透視図法（一点透視）		一点透視図法でパース（着色）を描くことができる。		
14回	立体構成-3・4		建築的な立体造形を製作することができる。		
15回	立体構成-3・4		立体構成の製作を通して構造的および造形的に空間を表現することができる。		